

## SHIP SECURITY ADVISORY No. 08-25J

**To: Owners/Operators, Masters, Company Security Officers, Recognized Security Organizations**

**SUBJECT: DRUG TRAFFICKING FROM SOUTH AMERICA**

**Date: 21 July 2025**

弊局は、特に南米からの違法薬物の輸送に商船が使用され、更にエスカレートしている事に注意喚起する。

### 1.0 背景

- 1.1 紛争や経済的混乱を含む世界情勢の不安定さは、世界の麻薬問題の社会的、経済的、安全保障上のコストを増大させ、組織的犯罪集団強化、麻薬使用を歴史的に高いレベルにまで押し上げている。
- 1.2 コロナウイルスの大流行により、当初は一部の密売ルートが途絶えたが、その後、ヨーロッパ、中南米、北アフリカ、東南アジアでは、海上・水路ルートでの違法薬物密売が加速している。
- 1.3 麻薬輸送の規模は著しく拡大しており、組織化された犯罪集団は、高度な隠匿手法の使用やルートの拡大など、より革新的になっている。長距離では[麻薬密輸用潜水艇](#)が大西洋横断に使用され続けているが、ほとんどの違法麻薬、特にコカインは商船経由で密輸されている。

### 2.0 麻薬密売の傾向

- 2.1 国連薬物犯罪事務所 (UNODC) の「[世界薬物報告書2025](#)」によると、コカインの生産量は過去最高を更新し、2023年と2024年の世界押収量も前例のない水準に達した。予備データによると、近年、海港で押収された量は20%以上増加しており、違法薬物の世界的な使用量は増加の一途をたどっている
- 2.2 コロンビアは依然として最大のコカ葉栽培国で、世界の栽培量の約70%を占め、ペルー、ボリビアがこれに続く。コカインの密売組織はアジアやアフリカの新市場に進出しており、西バルカン半島をはじめとする組織犯罪集団が影響力を強めるなか、その勢い(暴力行為)もラテンアメリカから西ヨーロッパへと広がっている。
- 2.3 世界のコカインの90%以上が海路で密輸されていると推定され、記録的な生産量により、出荷量は増加し、手口も巧妙化している。

本船舶保安通知は、毎年弊局によって審査され、特段の記載が無い限り、また置き換え、取り消しが無い限り、発行・更新から1年後に失効します。

SSA No. 08-25J

1/5

注) 本和訳はご参照頂き易い様に用意されたものでマーシャルアイランド海事局発行の公式文書ではありません。本和訳とマーシャルアイランド海事局発行の公式英語版内容に齟齬が生じた場合は常に英語版を正とします。

### 3.0 リスクの高い国と港

3.1 中米、南米、カリブ海地域の港湾業務は、依然として厳格な予防措置と警戒の対象となっている。大規模港は、麻薬の迅速な移動が可能な為に魅力的な中継地点であり続け、密輸量は港の規模に比例する。最近の押収データに基づくと、コカイン密売のリスクが高い国は、コロンビア、エクアドル、ペルー、ブラジル、メキシコ、ベネズエラ、ボリビア、アルゼンチンなどである。トルコ、アルジェリア、エジプト、レバノンも、依然としてヘロイン密売の多発地帯である。

#### 3.2 ブラジル

組織化された犯罪集団は、サントス、パラナグア、イタジャイ/ナベガンテス、リオグランデ、サンフランシスコドスールといった南部の多発地帯に加え、マナウス、サルバドル、ヴィラデコンデ(バルカレナ)、ペセン、スアペといった北部の港にシフトしつつあり、引き続きブラジルの港を標的としている。麻薬密輸業者は、北部の港で、甲板上の隠れ場所を利用したばら積み貨物船を狙うことが増えている。

#### 3.3 コロンビア

3.3.1 コロンビア当局は引き続き警戒を怠らず、頻繁に船内や水中検査を実施している。水中検査(UWI)は、以下を含む特定の港で義務付けられている:

- .1 カルタヘナ(エコペトロールターミナル)
- .2 ラ・グアヒーラ(プエルトポリバー)
- .3 リオアチャ(プエトロブリサ)
- .4 サンタ・マルタ(プエトロドラモンド、プエトロヌエボ、(エコペトロールターミナル))

3.3.2 UWIが義務付けられていないブエナVENTOURA港では、到着時と出発時の検査を民間企業に依頼することが推奨されている。これらの措置の効果により、ペルーとエクアドルにも同様の慣行を採用するよう影響を与えている。

#### 3.4 エクアドル

エクアドルは主要な出国地点となっており、2024年の押収量は252トンと過去最高を記録した。グアヤキル港は主要な多発地帯で、密売グループ間の競争により暴力が激化している。エクアドルの港に寄港する船舶は、こうしたリスクを軽減するため、より強化されたセキュリティ対策を実施すべきである。

## 4.0 麻薬密輸の手口

4.1 過去 10 年間、コンテナ輸送はヨーロッパへの密輸の最も一般的な形態であり続け、世界全体で年間 7 億 5,000 万個のコンテナが検査されているが、その 2%未満である。密売人は、スキャナーや探知犬による検知を逃れるための化学物質の隠蔽など、革新的な方法で対応してきた。

### 4.2 具体的な手口

- 1 スキューバダイバーを使って船体に「魚雷」型や「寄生虫」型パッケージを取り付ける；
- 2 バッグをシーチェストやその他船底構造に挿入；
- 3 現地のステベ、乗組員、港湾職員と共謀；
- 4 船内の離れた場所（船室、ファンネル、甲板、倉庫、機関室など）に薬物を隠す；
- 5 積み込み前の封印されたコンテナ内に麻薬を隠すこと。多くの場合、封印を破り、取り替える方法（リップオン／リップオフ法）時には港湾作業員と共謀；
- 6 麻薬密輸用潜水艇を利用した、ヨーロッパおよびそれ以遠への直接的な大洋横断輸送

4.3 麻薬密輸の手口の詳細については、InSight Crime ([リンク](#)):



SSA No. 08-25J

## 5.0 防止策

### 5.1 IMO ガイドライン

リスクの高い港に入出港する船舶の運航者及び船長は、国際海上交通に従事する船舶における麻薬、向精神薬及び前駆体化学物質の密輸の防止及び抑止のための IMO の改正ガイドライン(IMO Resolution [MSC.228\(82\)](#))及び IMO Resolution [FAL.9\(34\)](#))<sup>1</sup>に精通し、また船舶保安計画(SSP)がそれを考慮している事を確認する。(1本ガイドラインの改正は、2027年の完成を目標に策定中)

### 5.2 ISPS コード

5.2.1 ISPS コード<sup>2</sup>に基づき、港湾当局、船会社、船員は、不正アクセスを防止し、セキュリティ計画を実施し、訓練を確保しなければならない。リスクの高い港湾のベストプラクティスには、以下が含まれる(2弊局 [MN 2-011-16](#) 参照):

- 1 現地代理店を通じて航海ごとの脅威評価の実施
- 2 SSP の見直し、乗船口を制限し単一に、訪船者や荷物の登録、作業区域への監視員の配置、CCTV の監視、アクセス可能な区域の照明、不審な活動(小型艇やダイバーなど)への警戒の維持;
- 3 陸上から荷物の持ち込みを乗組員に禁止する;
- 4 疑惑が生じた場合、荷役作業終了後に船舶を全面的に検査し、水中船体検査を含む包括的な検査を要請すること。
- 5 P&I 代理店への連絡、警備員、麻薬探知犬、水中検査を配置し、ビルジキール、シーチェスト、スラスター、アノード、舵区画に重点を置く

5.3 入港前および寄港中に実施すべき[予防措置の包括的リスト](#)(NorthStandard)を参照すること。

## 6.0 インシデント報告

6.1 麻薬密輸の企て、またはその疑いがある場合、弊局密輸報告書(MI-109-6)を [marsec@register-iri.com](mailto:marsec@register-iri.com) に提出、弊局へ報告する事。現地当局、代理店及び P&I 代理店へ連絡する事。麻薬が発見された場合、それに触れず、その場所を写真やビデオに撮り、封鎖する。

## 7.0 参考文献

- .1 弊局[MN 2-011-16](#)
- .2 IMO Resolution [MSC.228\(82\)](#) and IMO Resolution [FAL.9\(34\)](#), Revised Guidelines for the Prevention and Suppression of the Smuggling of Drugs, Psychotropic Substances and Precursor Chemicals on Ships Engaged in International Maritime Traffic
- .3 International Chamber of Shipping, [Drug Trafficking and Drug Abuse on Board Ship: Guidelines for Owners and Masters on Preparation, Prevention, Protection and Response](#)
- .4 UNODC, [World Drug Report 2025](#)
- .5 World Customs Organization, [Illicit Trade Report 2023](#)
- .6 InSight Crime Investigation, [Hide and Seek :hide and Seek : How to Drug Traffickers Get Creative at Sea](#)
- .7 InSight Crime Investigation, [The Cocaine Pipeline to Europe](#)
- .8 Britania, [North/Northeast Brazil Maritime Drug Trafficking](#)
- .9 Steamship Mutual, [Drug Smuggling and Preventative Measures](#)
- .10 NorthStandard, [The evolving threat of illicit drug trafficking at sea](#)